

ハクサイ（野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる）

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 （日数）	使用 回数	使用 条件	ベ と 病	白 さ び 病	白 斑 病	菌 核 病	黒 斑 病	炭 疽 病	根 こ ぶ 病	根 く び れ 病	ピ シ ウ ム 腐 敗 病	黄 化 病	苗 立 枯 病	尻 腐 菌 病	黒 斑 細 菌 病	軟 腐 病
マスタピース水	NC		1	ー														◎	◎
スターナ水	31		7	3														◎	◎
トップジンM水㊟	1		7	2				◎	◎		◎								
ベンレート水㊿	1		7	2				◎	◎		◎								
エトフィンFL	22		7	3		◎													
			*c	1								◎							
アフエットFL	7		1	3				◎	◎	◎							◎		
バレー ド20FL	7		*f	1	☆				◎							®			
			1	3				◎	◎	◎									
ケンジャFL	7		1	3					◎	◎									
カナメFL	7	劇	1	3					◎								◎		
アミスター20FL	11		7	4		◎	◎	◎		◎									
スクレアFL	11		1	3					◎		◎								
ストロビーFL	11		3	3		◎		◎		◎									
ファンタジスタ顆水	11		3	3				◎	◎	◎	◎								
メジャーFL	11		3	3		◎	◎	◎		◎									
オラクル顆水	21		*c	2								◎							
			1	☆								◎							
オラクル粉	21		*a	2								◎							
			*c									◎		◎					
ライメイFL	21		7	4		◎	◎							◎					
ランマンFL	21		3	4		◎	◎							◎					
			14	1								◎							
			*b	1	☆							◎							
フロンサイドSC	29		*c	1								◎					◎		◎
フロンサイド粉	29		*a	1								◎			◎				
ロブラール水	2		14	3				◎	◎	◎									
リゾレックス水	14		14	3													◎		
リゾレックス粉	14		*c	1													◎		
ポリオキシシ A L 溶	19		7	5						◎									
フェスティバル水	40		3	3		◎													
レーバスFL	40		7	3		◎													
オリゼメート顆水	P2		*e	1	☆													◎	◎
ネビジン粉	36		*a	1								◎							
ネビリュウ粉粒	36		*a	1								◎							

ハ
ク
サ
イ

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	使用 条件	ベ と び 病	白 さ び 病	白 斑 病	菌 核 病	黒 斑 病	炭 疽 病	根 こ ぶ れ 病	根 く び れ 病	ビ シ ウ ム 腐 敗 病	黄 化 病	苗 立 枯 病	尻 腐 病	黒 斑 細 菌 病	軟 腐 病
ビシロックFL	U17		1	3		◎	◎							◎					
バリダシン液5	U18		3	3														◎	◎
キノンドーFL	M1		30	5															◎
ヨネポン水	M1		*d	4		◎													◎
ジマンダイセン水	M3		30	1		◎		◎		◎									
ペンコゼブ水	M3		30	1		◎		◎		◎									
オーソサイド水80	M4		7	5		◎		◎		◎	◎					◎			
ダコソイル粉	M5		*a	1								◎	◎						
ダコニール1000FL	M5		7	2		◎	◎	◎		◎									
フォリオゴールドFL	4・M5		7	2		◎	◎							◎					
リドミルゴールドM Z 顆水	4・M3		30	1		◎								◎					
カセット水	31・24		21	2														◎	◎
マテリーナ水	31・25		14	3															◎
ソタールWD G	31・14		14	3													◎		◎
ナレート水	31・M1		30	3		◎		◎		◎									◎
ダコレート水㊟	1・M5		7	2		◎			◎	◎									
ジャストフィットFL	43・40		7	3		◎	◎												
シグナムWD G	7・11		7	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎						◎		
ベジセイバーFL	7・M5		7	2		◎	◎	◎	◎	◎									
ゾーベックエンカン ティアSE	11・49		14	2		◎													
ホライズンDF	11・27		14	3		◎	◎												
アミスターオブティFL	11・M5		7	2		◎	◎	◎		◎									
ドーシャスFL	21・M5		7	2		◎	◎	◎		◎									
カンパネラ水	40・M3		30	1		◎													
ベネセット水	40・M5		7	2		◎		◎		◎									
カーニバル水	40・M5		7	2		◎		◎		◎									
プロポーズ顆水	40・M5		7	2		◎	◎	◎		◎									
カーゼートP Z 水	27・M3		30	1		◎													
ブリザード水	27・M5		14	2		◎													
シトラーノFL	M1・M5		30	2		◎		◎											◎

注:花芯ハクサイは農薬取締法上はサントウサイ…非結球アブラナ科葉菜類の項を参照のこと

㊟:チオファネートメチル含有剤 ◎:ペノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊟は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP. 856参照)。

*a:播種又は定植前 *b:定植前日～当日 *c:定植前 *d:結球開始まで(但し、収穫14日前まで) *e:定植時 *f:育苗期後半～定植当日 ㊲:リゾクトニア菌による病害

☆:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ シ 類	ア ザ ミ ウ マ チ 類	カ ブ ラ ハ バ チ 類	コ ナ ガ シ 類	ア オ タ バ コ シ 類	ヨ ト ウ バ ム シ 類	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ 類	ハ イ マ ダ ラ ノ メ イ ガ 類	ウ ネ キ リ ム シ バ ム シ 類	キ ス ジ ノ ミ ハ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	コ オ ロ ギ 類	ナ メ ク ジ 類	カ タ ツ ム リ 類	そ の 他 害 虫
スピノエース顆水	5		3	3				◎	◎	◎	◎			◎		◎					
サブリナFL	11A		*c	-					◎	◎	◎										
ジャックポット顆水	11A		*e	-					◎	◎	◎	◎									
ゼンターリ顆水	11A		*c	-					◎	◎	◎										
チューレックス顆水	11A		*e	-					◎	◎	◎	◎									
スラゴ粒 [*]	-		*r	-															◎	◎	
デナボン5%ベイト粒	1A		21	3									◎	◎				コ			ダ
オルトラン水	1B		30	1		◎		カ	◎	◎	◎	◎	◎								
オルトラン粒	1B		*a	1		◎			◎	◎	◎	◎			◎						
サイアノックス乳	1B		14	2		◎			◎	◎	◎	◎				マ	成				
ジェイエース溶	1B		30	1		◎			◎	◎	◎	◎	◎								
ジェイエース粒	1B		*a	1		◎			◎	◎	◎	◎									
ダイアジノン粒5	1B		*b	1											◎		◎				ケ
			*a												◎						
ダイアジノン粒10	1B	劇	*a	1											◎						
ネキリエースK粒	1B		*k	1											◎		◎				
ネマキック粒	1B		*s	1																	セ
マラソン乳	1B		1	5		◎	◎	カ		◎											
アディオオン乳	3A		7	5		◎			◎	◎	◎										ハ
ガードベイトA粒	3A		*d	5											◎						
サイハロン乳	3A	劇	14	3		◎			◎	◎	◎	◎									
テルスター水	3A		21	4		◎			◎	◎	◎	◎									
トレボン乳	3A		7	3		◎			◎	◎	◎	◎									
トレボンMC	3A		7	3		◎					◎										
フォース粒	3A	劇	*a	1											◎						
マブリック水20	3A	劇	21	2		◎			◎	◎	◎	◎				マ					
アクタラ顆溶	4A		*g	1	☆	◎															
			3	3		◎															
アクタラ粒5	4A		*g	1		◎			◎	◎											
			*i						◎												
アドマイヤー顆水	4A	劇	7	2		◎															
アドマイヤーFL	4A	劇	7	2		◎															
アドマイヤー1粒	4A		*a	1		◎															
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		3	2		◎										◎					サ

ハ
ク
サ
イ

ハクサイ (野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	使用回数	アブラミシ	アザミウマ	カブラハバチ	コナガシ	アオタバコ	ヨトウムシ	シロイチモジ	ハスモンヨトウ	ネキリムシ	ウジバ	キスジノミハムシ	コガネムシ類	コオロギ	ナメクジ	カメツリ	その他害虫
ダントツ溶	4A		1	2	◎			◎	◎												
ダントツ粒	4A	*f	▲	◎									◎								
		*g	1	◎			◎	◎					◎	◎							
		*a		◎					◎				◎								
モスピラン顆溶	4A	劇	14	3	◎		カ														
モスピラン粒	4A	*a	1	◎			◎	◎													
		*h		◎			◎	◎					◎								
トランスフォームFL	4C		3	3	◎																
フィールドマストFL	4E		1	2			◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎					サ
ディアナSC	5		1	2		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
アニキ乳	6		3	3			◎	◎	◎	◎			◎	◎		◎					サ
アフーム乳	6		7	3				◎	◎	◎	◎										
コルト顆水	9B		3	3	◎																
コテツFL	13	劇	1	2			カ	◎	◎		◎										
バダンSG溶	14	劇	7	3	◎		◎	◎	◎										◎		
リーフガード顆水	14	劇	7	3	◎			◎	◎				◎						◎	◎	
アタブロン乳	15		7	4				◎	◎		◎	◎			マ						
カスケード乳	15		7	2				◎	◎		◎										
ノーモルト乳	15		7	2				◎	◎		◎				マ						
マッチ乳	15		7	3				◎	◎												
ファルコンFL	18		3	2					◎		◎										
マトリックFL	18		7	4							◎										
ロムダンFL	18		1	2					◎				◎								
ハチハチFL	21A	劇	14	2	◎			◎	◎				◎			◎			◎		サ
ハチハチ乳	21A	劇	14	2	◎			◎	◎				◎						◎		
トルネードエースDF	22A		7	2			◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎						
ファイントリムDF	22A		7	2			◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎						
アクセルFL	22B		1	3			◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎						サ
アクセルバイト粒	22B		7	3								◎	◎					◎			
モベントFL	23		7	3	◎				◎												
フェニックス顆水	28		1	3				◎	◎	◎	◎	◎									
ブリロッソ粒オメガ	28	*m	1	△	◎			◎	◎					◎							
		*Q		◎				◎	◎					◎							
プレバソンFL 5	28	*m	1	☆			◎	◎	◎		◎			◎							
			1	3			◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎							
プレバソン粒	28	*m	1	△				◎						◎							
		*Q						◎	◎					◎							

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	使用条数	アブラムシ類	アザミウマ類	カブラハバチ類	コナガシバ類	オオタバコガシバ類	ヨトウムシ類	シロイチモジヨトウムシ類	ハスモンヨトウムシ類	ハイマダラノメイガ類	ネキリムシ類	ウスワバ類	キスジノミハムシ類	コガネムシ類	コオロギ類	ナメクジ類	カタツムリ類	その他害虫
ベネビアOD	28		1	3	◎			◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎					
ベリマークSC	28		*m	1	☆			◎	◎			◎	◎				◎					
			*u											◎								
ヨーバルFL	28		1	3	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
			*m	1	☆	◎			◎	◎	◎		◎	◎	◎							
ウララDF	29		1	2	◎																	
グレーシア乳	30		7	2		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎						
プロフレアSC	30		1	3				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					サ
ファインセーブFL	34	劇	7	2				◎	◎													
ブレオFL	UN		7	2				◎	◎	◎	◎											
ナメクリーン3	-		3	2																◎	◎	
ナメトックスハウス	-		*r	6																◎		
ハクサップ水	1B・3A	劇	1	5	◎			カ	◎	◎	◎	◎		◎		マ						
アベイル粒	4A・28		*m	1	◎				◎	◎					◎							
キックオフ顆水	4A・28		*p	1	☆	◎			◎	◎	◎			◎								
ジュリボFL	4A・28		*m	1	☆	◎		カ	◎		◎		◎	◎			◎					
			3	3		◎			◎		◎		◎	◎								
ミネクトデュオ粒	4A・28		*t			◎		カ	◎					◎		◎						
			*a	1		◎			◎	◎				◎								
			*i					◎														
アフファームエクセラ顆水	6・15		7	3					◎	◎	◎		◎									
アクセルキングFL	21A・22B	劇	14	2		◎	ネ		◎	◎	◎			◎								ナ

注:花芯ハクサイは農業取締法上はサントウサイ
… 非結球アブラナ科葉菜類の項を参照のこと。

*1:「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等」での登録。

☆:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。

△:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から均一に散布する。

▲:覆土後セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する。

ハクサイ (野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

*a:定植時
*b:播種時又は定植時
*c:発生初期(但し収穫前日まで)
*d:播種時～生育初期
*e:発生初期(但し結球開始前まで)
*f:播種時
*g:育苗期後半
*h:定植前日～定植当日
*i:播種前
*k:播種時又は定植時～生育初期(但し収穫14日前まで)
*m:育苗期後半～定植当日
*o:定植前まで
*p:定植前日～定植時
*Q:育苗期後半～定植時
*r:発生時
*s:播種又は定植前
*t:播種覆土後～育苗期後半
*u:播種覆土後～定植当日
カ:カブラハバチ ケ:ケラ コ:コオロギ サ:ダイコンサルハムシ (ダイコンハムシ)
セ:ネグサレセンチュウ及びネコブセンチュウ ダ:ダンゴムシ
ナ:ナモグリバエ ネ:ネギアザミウマ ハ:ハクサイダニ マ:タマナギンウワバ
若:若～中齢幼虫 成:成虫

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	・発生を認めたら次の薬剤のいずれかを散布する。 - ジマンダイセン水和剤 600倍 - ストロビーフロアブル 3000倍 - ダコニール1000(FL) 1000倍 - ランマンフロアブル 2000倍 - リドミルゴールドMZ(顆水) 1000倍	各種アブラナ科野菜に発生する。 9月中旬より発生しはじめ10～11月にかけてまん延する。特に低温多湿のときに多発しやすい。
白さび病	生育期	・発生を認めたら次のいずれかの薬剤を初期に散布する。 - アミスター20フロアブル 2000倍 - ダコニール1000(FL) 1000倍 - フォリオゴールド(FL) 1000倍 - ホライズンドライフロアブル 2500倍	
白斑病・黒斑病	生育期	・発生を認めたら次の薬剤のいずれかを散布する。 - ジマンダイセン水和剤 600倍 - ストロビーフロアブル 3000倍 - ダコニール1000(FL) 1000倍 - ロブラール水和剤 1000～1500倍	いずれの病気も周年発生するが、特に晩秋から初冬にかけて雨の多い年に多発しやすい。各種アブラナ科植物に発生する。
根こぶ病	播種前または定植前	1. 常発生地ではアブラナ科以外の作物との輪作を心がける。 2. 畑の排水を良好にするか、または高畦栽培とする。 3. 石灰施用により土壤酸度を矯正する。 4. 定植直前に次の薬剤のいずれかを土壤混和する。 - オラクル粉剤 - 全面処理 30kg/10 a - 作条処理 20kg/10 a - ネビジン粉剤 - 全面処理 20～30kg/10 a - 作条処理 20kg/10 a - フロンサイド粉剤 - 全面処理 30～40kg/10 a - 作条処理 15～20kg/10 a 5. 定植前日～当日に次の薬剤をセル苗に灌注する。 - ランマンフロアブル△ 500倍	各種アブラナ科作物に発生し、土壤伝染する。ダイコンでは被害はほとんど見ない。 夏まき栽培で被害が大きく、夏から秋にかけて高温多雨の年に多発する。 薬剤は表層10～15cmの土壤と十分に混合する。 △ 2 L/セル成型育苗トレイ(30×60cm、土壤量約2.5～7L)

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
軟腐病	播種時	・低湿地での栽培をさけ、排水を良好にする。	病原細菌は茎葉の傷口から感染する。
	生育期	1. キスジノミハムシ、コオロギその他の害虫を駆除する(害虫の項参照)。 2. 台風や強い風雨など多発が予測される場合には、次の薬剤のいずれかを予防散布する。 カセット水和剤 1000倍 キノンドーフロアブル 1000倍 ナレート水和剤 600～1000倍 Zボルドー(水)＊ 500倍 3. 発病株はすみやかに処分する。	夏～秋にかけて高温多湿の年、秋まきに多発する。台風の後に多発しやすいので、台風直後には薬剤散布を励行する。降雨直後の作業は発病を助長する。 ＊野菜類での登録
モザイク病・えそモザイク病	生育期	1. 播種後30日間寒冷紗を被覆する。 2. シルバーマルチ(ムシコン等)やマルチフィルムを用いてマルチ栽培する。 3. アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。 (夏から秋にかけて高温、乾燥の続く年、秋まきに多発する。マルチ栽培では高温障害に注意する)	アブラナ科野菜およびその他の多くの作物、雑草などに広く発生し、アブラムシ類によって媒介される。 えそモザイク病は葉に多数のえそ(小黒点)を生じ、べと病と誤認しやすい。
アブラムシ類	播種時	・寒冷紗などによる被覆栽培や光反射マルチシート等で有翅虫の着生を防止する。	アブラムシは汁液を吸収して加害するだけでなく、ウイルス病を媒介するので、幼苗期の防除を徹底する。 △幼苗期に使用すると薬害が生じる事がある。
	定植時	・次の薬剤を植穴に施用し、土と混ぜる。 モスピラン粒剤 1 g/株	
	生育期	・生育初期は定期的に、その後は発生に応じて次の薬剤のいずれかを散布する。 ウラDF 2000～3000倍 オルトラン水和剤 1500～2000倍 モスピラン顆粒水溶剤△ 2000～4000倍	
カブラハバチ	生育期	1. 被覆により成虫の飛来を防ぐ。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 マラソン乳剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤△ 4000倍	ニホンカブラハバチとカブラハバチの2種が多い。 △幼苗期に使用すると薬害が生じる事がある。

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
コナガ	定植期	1. コナガコン-プラス◇のいずれかの剤を、作物の上に設置する。 ツインチューブ製剤 100～120本/10 a ローブ状製剤 20～40m/10 a 2. 次の薬剤のいずれかを植穴土壌混和する。 オルトラン粒剤 3～6kg/10 a (1～2g/株) モスピラン粒剤 1 g/株	・発生回数が多く、春から初冬まで発生加害する。 #オオタバコガ、ヨトウガに対する登録も持つ。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アタブロン乳剤 2000倍 アフーム乳剤 1000～2000倍 エスマルクDF* 1000～2000倍 コテツフロアブル 2000倍 スピノエース顆粒水和剤 2500～5000倍 ディアナSC 2500～5000倍 パダンSG水溶剤 1500倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 マッチ乳剤 2000～3000倍	抵抗性を獲得しやすいので同薬剤・同系統の薬剤を連用しない。 *野菜類での登録
アオムシ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 1000～2000倍 エスマルクDF* 1000～2000倍 オルトラン水和剤 1500～2000倍 ノーモルト乳剤 2000倍	老熟幼虫は薬剤が効きにくいので、小さいうちに駆除する。 *野菜類での登録
オオタバコガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレオフロアブル 1000倍	
ヨトウムシ	生育期	1. 卵塊で産卵され、若齢期は集団でいるので見つけ次第葉ごと処分する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 1000～2000倍 オルトラン水和剤 1500倍 サブリーナフロアブル 1000倍	薬剤は葉裏に丁寧に散布する。 老熟幼虫は薬剤が効きにくい。

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハスモン ヨトウ	生育期	1. 卵塊で産卵され、若齢期は集団 で見つけ次第葉ごと処分 する。 2. 幼虫若齢期に次の薬剤のいづれ かを散布する。 アタブロン乳剤 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍	春から初冬まで数回 の発生をするが、多く なるのは8月下旬以降 である。時に大発生と なる。
ハイマダ ラノメイ ガ(ダイコ ンシンク イムシ)	育苗後期～ 定植時	・ 次の薬剤のいずれかを処理す る。 アルバリン粒剤 植穴土壌混和 #3 3 g/株 スタークル粒剤 植穴土壌混和 #3 3 g/株 プレバソンフロアブル5 セル苗等に灌注 #1、#4 100倍 プレバソン粒剤 株元散布 #5 1 g/株 セル苗等に散布 #2、#4 モスピラン粒剤 株元散布 #6 0.5 g/株	#1セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポ ット1冊(約30× 60cm、使用土壌約1.5 ～4L)当り0.5L。土 耕の育苗床では使用で きない。 #2セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポ ット1冊(約30× 60cm、使用土壌約1.5 ～4L)当り50g。土耕 の育苗床では使用で きない。 #3定植時 #4育苗期後半～定植当 日 #5育苗期後半～定植時 #6定植前日～定植当日
	幼苗期	・ 次の薬剤のいずれかを散布す る。 アクセルフロアブル 1000倍 スピノエース顆粒水和剤 2500～5000倍 チューンアップ顆粒水和剤* 2000～3000倍	夏が高温乾燥のときに 多発する傾向があり、 8月上旬以降急増す る。 幼虫が芯部に食入し てからは防除が難しい ので、早期に防除す る。 *野菜類での登録
ネキリム シ類	定植時	・ 発生量は多くないので土を調 べ、幼虫を捕殺する。 ・ 次の薬剤を施用する。 ダイアジノン粒剤10 3kg/10a	
	生育期	・ 発生を見たら次の薬剤を株元に 施用する。 デナポン5%ベイト(粒) 3～6kg/10a	

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
タマナギ ンウワバ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アタプロン乳剤 2000倍 マブリック水和剤 1000～2000倍	
キスジノ ミハムシ	生育期	・発芽直後から本葉7～8葉期まで次の薬剤のいずれかを散布する。 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍 サイアノックス乳剤△(成虫) 1000～2000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000倍	△幼苗期および結球期直前は葉害の恐れがあるため使用しない。
コオロギ 類	播種後または生育初期	・次の薬剤を施用する。 ネキリエースK(粒) 3kg/10a	
その他の病害虫		ヤサイゾウムシ	